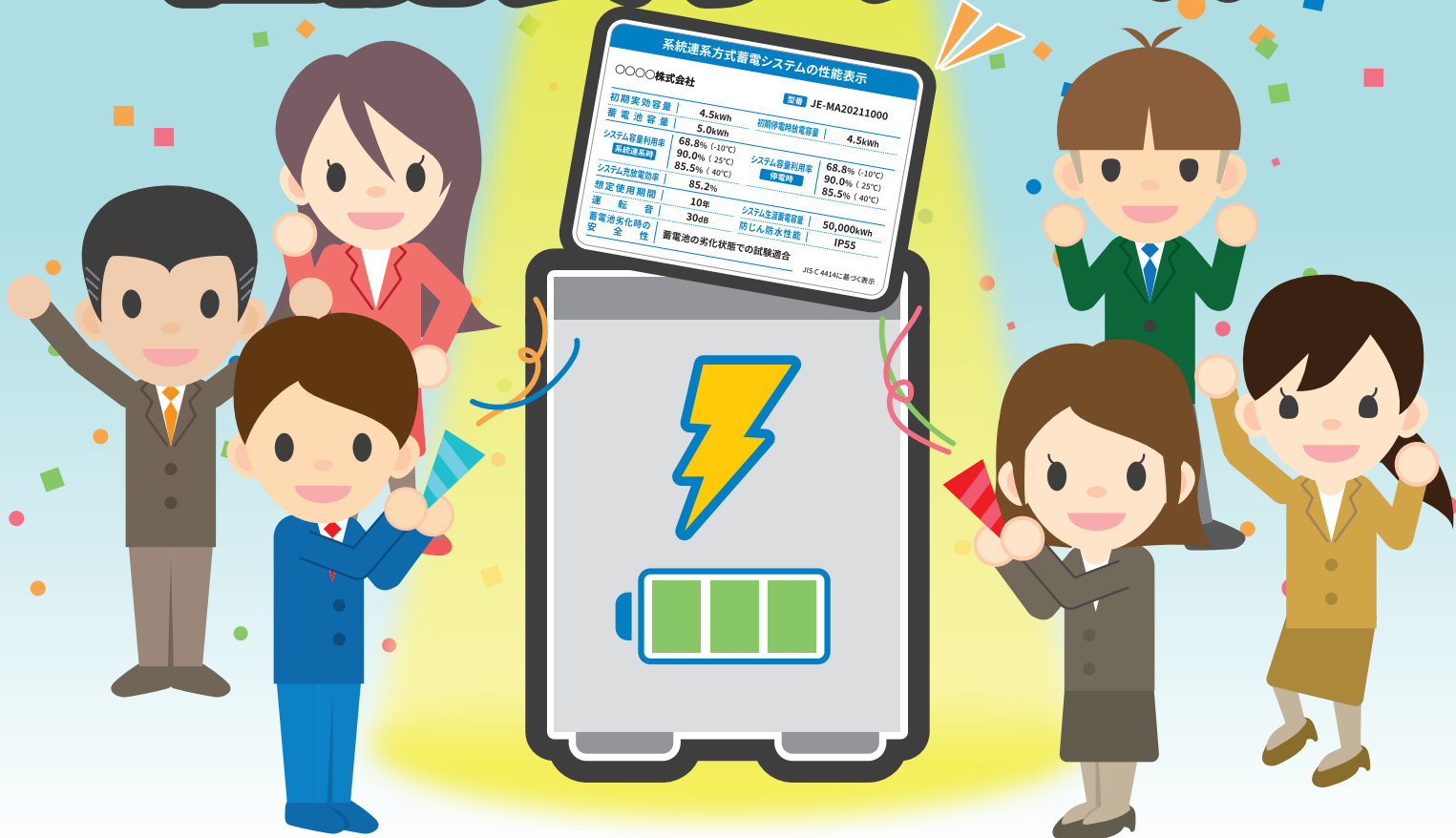


はじめりました 蓄電システム 性能表示ラベル



何ができるの？

蓄電システムの
主な性能11項目をひとまとめにして
 分かりやすくラベル表示したものです。
 お客様が製品比較する際の手助けになります。

どこに付いているの？



製品本体



カタログ



ホームページ

等

対象製品は？

家庭用蓄電システム **系統連系型**

※スタンドアロン型は除きます。

系統連系方式蓄電システムの性能表示

〇〇〇〇株式会社

型番 JE-MA20211000

初期実効容量	4.5kWh	初期停電時放電容量	4.5kWh
蓄電池容量	5.0kWh		
システム容量利用率 系統連系時	68.8% (-10°C) 90.0% (25°C) 85.5% (40°C)	システム容量利用率 停電時	68.8% (-10°C) 90.0% (25°C) 85.5% (40°C)
システム充放電効率	85.2%		
想定使用期間	10年	システム生涯蓄電容量	50,000kWh
運転音	30dB	防じん防水性能	IP55
蓄電池劣化時の 安全性	蓄電池の劣化状態での試験適合		

JIS C 4414に基づく表示

性能表示ラベル

ラベル項目の説明は
裏面をご覧ください。

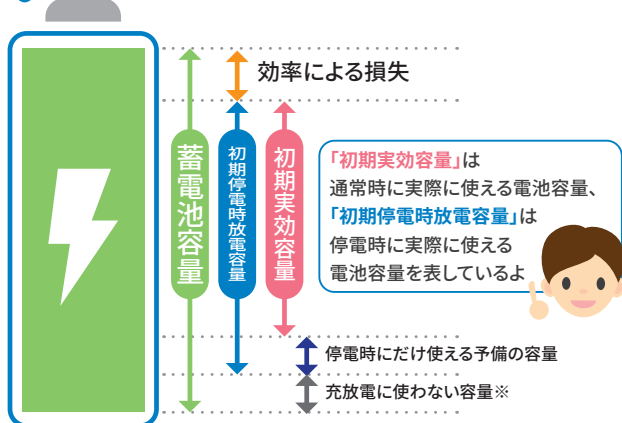
性能表示ラベルの説明

系統連系方式蓄電システムの性能表示

蓄電システムのメーカー	〇〇〇〇株式会社		型番	JE-MA20211000		蓄電システム固有の管理番号
1	初期実効容量	4.5kWh	初期停電時放電容量	4.5kWh		2
3	蓄電池容量	5.0kWh				
4	システム容量利用率 (系統連系時)	68.8% (-10℃) 90.0% (25℃) 85.5% (40℃)	システム容量利用率 (停電時)	68.8% (-10℃) 90.0% (25℃) 85.5% (40℃)		5
6	システム充放電効率	85.2%				
7	想定使用期間	10年	システム生涯蓄電容量	50,000kWh		8
9	運転音	30dB	防じん防水性能	IP55		10
11	蓄電池劣化時の安全性	蓄電池の劣化状態での試験適合				
						JIS C 4414に基づく表示

項目番号	項目名	内容	蓄電システムの比較ポイント
1	初期実効容量	新品で通常時に満充電から利用可能な電力量	値が大きいほど、電気製品を長く動かせる
2	初期停電時放電容量	新品で停電時に満充電から利用可能な電力量	値が大きいほど、電気製品を長く動かせる
3	蓄電池容量	蓄電システムに蓄えられる電力量	値が大きいほど、電力を貯められる量が多い
4	システム容量利用率 (系統連系時)	通常時に使える電力量の周囲温度毎の効率	値が大きいほど、蓄電システムを効率よく使える
5	システム容量利用率 (停電時)	停電時に使える電力量の周囲温度毎の効率	値が大きいほど、蓄電システムを効率よく使える
6	システム充放電効率	蓄電システムの充電時・放電時の電力効率	値が大きいほど、無駄なく充放電ができる
7	想定使用期間	蓄電システムを安全に使用できる期間	値が大きいほど、蓄電システムが長寿命
8	システム生涯蓄電容量	蓄電システムを寿命まで使い続けた場合に利用可能な総電力量	値が大きいほど、製品寿命までに充放電できる電力量が多い
9	運転音	運転時の発音音	値が小さいほど、運転音が静か
10	防じん防水性能	ちりやほこり、水の蓄電システムへの入りにくさ	値が大きいほど、蓄電システムの設置できる場所の制限が少なくなる
11	蓄電池劣化時の安全性	長期間使用した時点の安全性	適合していれば、蓄電システムを長期間、安心して使用できる

蓄電池の容量について



※蓄電池を使い切ってもシステムを維持するために確保している容量



- Q** どうやって決めているの？
- A** JIS C4413という規格にのっとり、評価試験を行って値を決めているよ。
- Q** ラベルをどうやって比較するの？
- A** 蓄電システムメーカーのHPやカタログにラベルが掲載されるので、比較できるようになるよ。
- Q** 色々な項目があるけどどれを重視すればよいの？
- A** 蓄電システムの使い方によって変わるよ。販売業者に相談してね。

お問合せご連絡先

